

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Woody 1 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和7年1月21日		～ 令和7年2月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和7年1月21日		～ 令和7年2月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の集団活動の工夫	子どもたちすべての好みを把握して個々の活動意欲の向上になる様、子どもと一緒に計画を立てたり、一から立ててもらう。	子ども同士が自由に話し合い、お互いを知る機会を多くする事で活動の幅を大きくしていく。スタッフ無しでコミュニケーションが出来る時もあるので、その場面が増える様声掛けや見守り等を工夫する。
2	活動の多様性	上記とは少し似ている点もあるが、今あるもの、したことのないもの、苦手そうなものを組み合わせ、それを楽しめるよう、子供の意見も取り入れながら毎日工夫している。始めて活動する時は事前に検証・調査・時間配分等を考えるようにしている。	今現在新しいもの、楽しそうなものを必ず取り入れるようにする。今後は少しずつ楽しかった成功体験を積んでいく様にしていく。
3	子どもの興味を引くような食育に力を入れている	子どもから学校で食べた給食の話の聞いたり、活動でファミレスやバイキング、フードコートに行ったり、クッキングを通して子どもの好みを知り、活動を決定する基準にしている。	今後は初めての食べ方や味への出会いを大切に、「少し食べてみる」「これなら食べられた」「案外美味しかった」等の成功体験を増やし、食べず嫌いを減らせるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他の子どもと活動する機会が少ない。	慣れない場所や知らない人たちの輪に入ることを苦手とする利用者もいるため、活動の選択肢として取り入れるのが難しかった。	将来の地域移行を見据え、参加可能な地域の行事・イベントに積極的に参加をしていく。
2	家族に対して家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が少ない。	保護者より相談等受けて対応することはあるが、家族に対しての支援プログラムや参加出来る研修等の開催をするまでには至らず、実行は出来ていない。	保護者会とはまた別に家族等が参加可能な研修会を行ったり外部から講師を招き講習会を開催するなど、普段の生活においての色々な悩みに対してアプローチしていける様に取り組んでいく。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援が少ない。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援が少ない。	保護者会や家族が出席できるイベント等を開いてはいるが、日中では参加が難しいご家庭が多い。参加して下さるご家庭がほぼ固定している。	各家庭の参加しやすい時間帯を把握したり、年間予定などで数カ月先にお知らせするなど参加しやすい体制を整える。開催頻度を調整する等していく。